

英語弁論大会を通して学んだこと

宮崎市立宮崎東中学校 3年 真崎 蒼志

東京で3日間行われた高円宮杯第76回全日本中学校英語弁論大会には、約140名近くの出場者がいて、想像していた以上に大きな大会であることを実感することができました。出場者一人ひとりの実力もすばらしく、地区や県大会とは違って、発音にはほとんど差がないように思え、審査結果を見て、あらためて発表内容を重視していることが分かりました。また、発表内容も多種多様で、考えさせられたこともたくさんあり、全国大会に参加できたことに感謝をしています。

今回の全国大会に至るまでの過程でいくつか学んだことがあります。一番学んだことは、継続することの大切さです。昨年度は地区や県大会で暗唱の部に出場し、今年度初めて弁論の部に出場しました。校内で地区大会への出場が決まったときは、全国大会への出場は無理だと心底思っていました。地区大会に向けて、教科担当の先生やALTの先生とほぼ毎日欠かさず練習をしました。地区代表となったあとも県大会に向けて継続して練習に取り組み、そして全国大会への切符をつかみ取ることができました。あのとき無理だと思っていたことが途中から夢へと変わり、そして実現して東京での3日間につながりました。

今後は、今回学んだことが自分の中に埋もれて消えてしまわないように、日々継続することの大切さを意識しながら毎日を過ごしていこうと思います。